

港区の皆様へ
まちづくり政策集

大学1年時18歳で起業
会社経営14年

さいき陽平

|| グランドデザイン ||

港区を**経営**します
世界一に挑戦するまちづくり

世界最高の
子育て・教育環境



いきいき・安心の
健康長寿のまち



区民の命を守り抜く
防災力



平成4年生まれ

32歳

慶應義塾大学法学部政治学科 卒業





世界一に挑戦するまちづくり 港区を経営/デザインする

港区に住み始めたのは、私が20歳の頃でした。山口県と福岡県で生まれ育った私にとって、港区に住むことは憧れでした。初めて上京した時に、六本木ヒルズを歩いた時の高揚感は今も強く覚えています。私はこれからも**港区が日本中の「憧れ」のまちであって欲しい**と考えています。そして慶應義塾大学の三田キャンパスに通っている時には慶應仲通り商店街にも大変お世話になりました。大都会でありながら、**人情に溢れる地域コミュニティも港区の大きな魅力**です。

港区議会議員に初当選をさせて頂き、活動する中で最も多く感じたこと。**それは「もったいない」という思い**です。港区にはこんなにポテンシャルがあるのに活かされていないのは本当にもったいない、という思いを何度もしてきました。

港区は毎年100億円の黒字があり、2000億円もの貯金(基金)を貯め込んでいます。日本有数の都市がいくつもあり、東京タワーを始めとするランドマークもごろごろあります。大使館の数も日本一、区民の平均所得も23区で

一番です。民放キー局も全て港区にあります。社長の数も日本一です。**こうしたポテンシャルを生かせば、港区はもっと成長し、もっと暮らしやすい街になります。**

「23区の中では一番手厚い支援をしているから大丈夫」ではなく、更なる高みを目指して、「**世界を目指すまちづくり**」を私は区民の皆さんと共に進めたいです。

保守的な発想にとどまるのではなく、港区がこれまで以上に、新しいことにチャレンジし、輝いていくことで、**暗闇の中にある日本の未来を「北極星」のように指し示していく**。そんなビジョンを、港区こそが描くべきです。

それは港区だからこそできる、日本社会への貢献です。そしてそのことを通じて、**区民の生活はもっと豊かになり、ひいては、港区民の誇りにも繋がっていく**と信じています。**そんな「港区の新時代」を切り拓けるのは、港区に暮らす「あなた」しかいません。どうぞ共に歩ませてください。**

齋木 陽平

港区の 強み

圧倒的な財政力

毎年100億円の黒字。
2000億円もの貯金。



若さあふれるまち

高齢化率約17% (全国は27%)。
23区で2番目に若年人口が多く、
人口も増加傾向。



経済・文化の先駆地

大手マスコミ各社・
80以上の大使館・
日本有数の観光地を擁している。

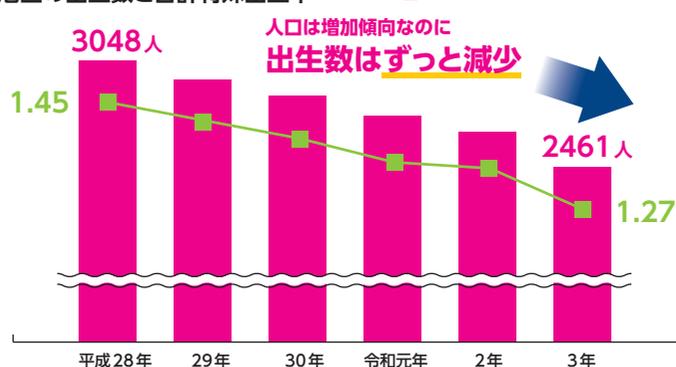


港区の課題

教育(子育て)の課題

地価や物価が高く、
生活費・住居費・教育費など、
子育ての経済負担が
とても大きい。

▼ 港区の出生数と合計特殊出生率※1



医療介護の課題

65歳以上の人口が
今後急増していくと推定され、
介護施設・介護人材の不足の
深刻化が見込まれている。

▼ 港区の老年人口の人口推計結果(65歳以上の方)※2



防災の課題

- ① マンション住民が9割
 - ② 昼間人口、全国1位
- 港区特有の課題を捉えた
災害対策が構築できていない。

▼ 都市南部直下地震M7.3が発生した際の港区の被害想定※3



政策

1

p.04

目玉
政策

コドモノミクス

p.08

政策

2

p.05

政策

3

p.06

※1: 厚生労働省「人口動態統計」、東京都「人口動態統計」

※2: 港区人口統計(令和6年3月)

※3: 港区地域防災計画(令和6年3月修正)概要

誰もが個性を活かし、可能性を開花できる「教育先進のまち」へ

1 大使館やIT企業と連携し
「質の高い教育」を実現します！

港区に多数集積している大使館との連携は、現在1日限りのイベントに留まっていて、そのポテンシャルを活かしきれていません。**質の高い教育プログラムへと拡充します。**また**テクノロジー教育も、港区に集積するIT企業と連携して強化**します。私立・区立問わず、すべての子ども達に届けます。

2 放課後塾で塾代をゼロに！

民間企業と連携し、区立小中学校に通う児童・生徒を対象とした「放課後塾」を設置します。大きな経済的負担となっている**塾代をゼロ**にします。教育改革にも繋がり、子ども達の学力格差解消にもなります。

3 区立の中高一貫校を作り、
大学進学まで安心のサポートを届けます！

現在の港区は「小中一貫校」を拡充させる方針ですが、真に保護者のニーズが高いのは「**中高一貫校**」です。安心して**大学進学までサポート**してくれる**質の高い中高一貫校を必ず実現**させます。

4 教育現場に「大胆な人員補充」を実行します！

公立校には多種多様なニーズを持つ児童・生徒が集まります。私立学校に比べ、経済的に厳しい家庭のお子さんもあります。またADHDや障がいがある生徒の比率も増加傾向にあります。こうしたニーズに的確に対応するため、**手厚い人員体制に拡充**します。具体的には、**区費講師、スクールサポートスタッフ、学習支援員の人員を強化**します。



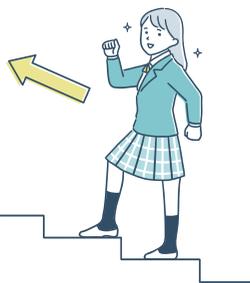
HelloWorld株式会社より提供



デジタル教育の運営会社 ライフイズテック株式会社より提供

**質の高い教育を
すべての子どもに！**

ベーシック・サービスの実現へ！





栄養・運動・社会参画で「健康で長生きできるまち」へ

健康で長生きするために必要な三要素として「**栄養(食・口腔機能)**」「**運動**」「**社会参加**」の三つが大切だと言われています。

港区の高齢者の方々の健康寿命の年齢をしっかりと把握し、数値目標を定め、役所一丸となって、高齢者お一人お一人が「**健康で長生きできるまちづくり**」を実行していきます。

数値目標：健康寿命日本一のまちへ

- 1 | **栄養** | 口腔ケア診断のプッシュ型での実施
- 2 | **運動** | 高齢者が運動に親しむイベント実施への支援
- 3 | **社会参画** | いきいきプラザでの多世代交流事業の推進や就労支援

Q.  この歳になって夫に先立たれてひとり暮らしをしてると、自分に万が一のことが起きたらと心配になるのよ。

A.  **一人暮らし高齢者の見守り事業を強化します。** 港区には既に「**ふれあい相談員**」という制度があります。配食サービスなどを通してコミュニケーションを続ける制度です。港区は、お正月一人で過ごした**独居世帯の割合が3割以上**。現在13人の相談員が配置されていますが、まだまだ**高齢独居世帯の急増**に応えられる規模になっていません。**更なる「ふれあい相談員」の拡充を速やかに実現します。**

Q.  高齢者扱いされるのは嫌。まだまだ元気だから、何か始めてみたい!

A.  **いきいきプラザなどでキャリアを活かして老後も活躍できる場の整備を進めます。** また、**六本木やお台場などの空白地帯**となっている地域には、**新たにいきいきプラザを設立し、誰もが通いやすくなることを目指します。** 加えて、就労支援なども積極的に行い、**社会参画の機会を増やすこと**で、**健康寿命の延伸にも寄与**します。

介護施設に入れるか不安という声が多くあります



増加するシニア世代の介護ニーズに対応できていないので、**都用地・区有地の活用や再開発事業者との連携で介護施設の拡充**を実行します。また、介護人材の確保のため**家賃補助の拡充**なども速やかに実施します。

安心の介護・医療を必ず実現します!



Q.  将来、認知症になってしまわないかと不安。

A.  **日本老年学的評価研究(JAGES)の調査報告によると、自治体によって認知症の発生率が10ポイントもの「地域差」**があることがわかりました。**認知症を抑制できている自治体は①首長の強いリーダーシップ②部署横断の連携体制③行政と住民の顔の見える関係、の三つが共通して高かったことが報告されています。**私は港区の新しいリーダーとして、**「認知症対策に強いまち」に全力で取り組みます。**



あらゆる災害から区民の命を守り抜く「強靱なまち」へ

1 区職員の災害対策住宅を整備し「災害対応力」を高めます!

- 区の職員の区内在住者は341名で、全体の約15.1%で23区ワーストクラスです。
- 今の港区では、災害対応の中心を担う区職員が迅速に対応できず、肝心な初動対応の混乱が予想されます。こうした状況を克服するため、**災害対策住宅の整備を進めます。**
- 区内在住の区職員を増加させ、**地域住民との日常的なコミュニケーションの強化**も図ることで、**災害対応力を強化**します。

2 町会・自治会に対して区が大胆な支援策を講じ「地域防災力」を高めます!

- 港区では防災・災害対応の要である**町会・自治会、消防団の担い手不足が深刻化**しています。そのため、こうした活動に新たに参加した方の特典として、**区が商店街商品券を給付するなど、加入促進を大幅に強化**します。特に加入率が低い若い世代・現役世代への効果的なPRも強化します。
- マンション自治会の設立要件を緩和し、**マンション住民を巻き込んだ「災害時ネットワーク作り」を推進**します。
- 港区では**58,408人の避難者が想定**されています。女性・要配慮者・ペット同室避難など多様なニーズに応え、**誰もが質の高い避難所で過ごせる体制を実現**させます。

3 マンション住民が9割! 「マンション防災力」を強化します!

- 港区民の90%以上は**マンション住民**です。**マンションごとの防災マニュアルや避難計画の策定への支援策を強化**します。
- 港区では**エレベーター閉じ込めは1,357台**で起きると想定されています。古いエレベーターの更新支援、閉じ込め時の備品の整備支援、救助体制の構築などで**速やかに被害想定を「半減」**させます。

4 「約53万人もの帰宅困難者」への対策を強化します!

港区は**昼間人口約97万人と日本で一番多い自治体**(政令指定都市を除く)です。**災害時、53万人もの帰宅困難者が想定**されるため、**港区に立地する企業と連携し、帰宅困難者用の避難所の備えを進め、混乱を最小限に抑えます。**

マンション住民が9割



港区は昼間人口が日本一多い

	昼間人口(人)	事業所数(民営)
港区	972,673	41,049
芝地区	386,758	16,839
麻布地区	121,516	6,563
赤坂地区	180,275	10,214
高輪地区	89,862	3,424
芝浦港南地区	194,260	4,009

出所：令和2年度国勢調査、令和3年経済センサス活動調査



そんな港区に都市南部直下地震M7.3が発生した際の被害想定※は

エレベーター閉じ込め **1,357台**
 帰宅困難者 **531,372人**

※港区地域防災計画(令和6年3月修正)概要

そんな港区だからこそ
 港区特有の
 課題を捉えた対策を
 強化します!!



4 まちづくり

誰もが快適に過ごせる
「にぎわいのあるまち」へ1 スーパーや子どもの遊び場など、
区民ニーズの高い施設不足を解消させます！

今の港区は人口増加に伴う、行政需要の高まりに対応できていません。「スーパーが足りない」「子どもの遊び場が足りない」「スポーツができる場が足りない」「障害者のグループホームが足りない」そうした悲鳴が区民からたくさん届いています。国有地・都有地の活用や、区有施設の最大活用、再開発事業者との連携強化など、これまでの役所のやり方に囚われない発想で、施設不足を解消させます。

2 子育て世帯や高齢者世帯の
交通不便・買い物難民を解消します！

- 公共交通機関にアクセスしにくい方々も、スマホでタクシーを予約し、相乗りで運行するAIオンデマンド交通を導入し、交通不便をなくします。
- 坂道の上下にシニアカートのポートを設置し、坂道の苦勞を低減するとともに、高齢者の外出促進を図ります。

3 ドッグランやプレーパークなどを設置し
公園に更なるにぎわいを！

- 区民のニーズが高いドッグランを拡充します。
- 「ペットのしつけ教室」を拡充し、ペットを持つ人も、持たない人も誰もが過ごしやすいまちづくりを目指します。
- 世田谷区羽根木のようなプレーパークを設置し、子どもたちが自由に創作し遊べる空間をつくります。



5 区役所改革

区民ファーストの
「頼れる区役所があるまち」へ

1 デジタル化の推進で「スマホで完結する区役所」を実現します！

- 官民間問わずデジタル政策に精通した人材を専任かつ常勤のデジタル政策官として登用します。また部署を横断で取り組める体制を作り、「区民にとって圧倒的に便利な区役所」を実現します。
- 支所制度は継承し、リアルな支所とデジタル化を融合させます。また、デジタル化に取り残された区民が生まれない対策も強化します。

2 「マーケティング課」を新設し、行政の「見える化」を進めます！

- 区民のそれぞれが必要とする制度の情報を届け、恩恵を享受できるような積極的な情報発信や広報活動の充実を図ります。そのために、千葉県流山市が行っている「マーケティング課」の新設、民間からマーケティングのプロの登用を港区でも実施します。

3 区職員の働き方改革によるモチベーションマネジメントで
区民サービスの向上を

- 過去10年で港区の人口は約3万人以上増えているにもかかわらず、区職員の数には横ばいです。そのことで現場での疲弊を生み、時に、不適切な区民対応を生んでしまいます。適切な人員配置で区民に寄り添った丁寧な行政サービスの提供を実現します。
- 四條畷市も導入している民間のマネジメントツールを導入し、「日本一働きがいのある区役所」を実現します。
- 女性管理職登用の増加を目指します。現在の港区役所の女性幹部の割合は19%と、圧倒的な男性社会です。しかし、当然ながら区民の半数は女性です。性別にかかわらず、能力で評価され、「フェアで多様な視点を持つ区役所」を実現します。



コドモノミクス～すべての子どもに1000万円～



実現のための3本の矢

1 きめ細やかな
保育サービス



2 質の高い
公教育の実現



3 経済負担解消
のため給付金

港区の子育て支援は 予約戦争

一時保育・病児保育・
障害児保育・シッターの
予約がすぐに
埋まってしまう



こんな状態では
2人目・3人目は
無理だ…



1 きめ細やかな
保育サービス

保育サービスを大幅に拡充
させ、予約戦争に終止符を
打ちます！

そのほかにも、

- 保育士の待遇改善
- 不妊治療を無償化

2人目、3人目を諦めさ
せてしまったら、取り返
しがつきません。今す
ぐに実行する必要があります。

今すぐに
変えます!!

すべて所得制限なし

国と東京都の給付

国：月額 10000円 (2024年12月から
所得制限撤廃)
都：月額 5000円 (018サポートとして
2024年1月から支給開始)

18歳まで 計324万円

2 質の高い
公教育の実現

公立学校の魅力化で公立中学に
多くの人が安心して進学できるようにします

私立中高に
通った場合と比べて
教育負担を大幅軽減

公約
政策

計300万円

必要予算

2600人(出生率1.3) × 200万円 = 52億円
※2600人は1年間で港区に生まれてくる赤ちゃんの数



4.2万人 × 216万円 = 50億円
※4.2万人は港区の0～18歳の人数

= 100億円

従来の一時金分 81万円



3-1 経済負担解消
のため給付金

出産一時金
200万円増額

1000万円内訳

公約
政策

計200万円

18年間で
累計/
1121
万円

3-2 経済負担解消
のため給付金

スマイル商品券
現行5万円 (臨時) → 12万円/年間
(恒久化)

公約
政策

18歳まで
計216万円

赤ちゃん用品代
ランドセル代
参考書代 などに使える



なぜ「コモノミクス」をやるの？

港区における

理想の子ども数と予定の子ども数(既婚者)*

理想 **2.26人** 予定 **1.61人**

理想と予定の子ども数の差はなぜ!?

港区の既婚者の声

理由1 子育てや教育に
お金がかかりすぎるから



52.6%

この声に
応えたい!!



理由2 高齢で産むのが身体的に大変だから **31.7%**

理由3 家が狭いから **29.1%**



100億円の財源を稼ぎます!



※港区政策創造研究所 令和5年度子育てしやすい環境の充実に向けた調査研究 結果概要

区民の税金に頼らない! 稼ぐ港区

|1| **2000億円の基金を長期分散型で運用し、**
収益の**40億円**を区民に還元します!

先行事例はある!

大分県国東市は
運用利回り
1.2%(2022)

現在1000億円運用しながら利率はわずか約**0.1%**以下。民間の金融企業と連携し、長期分散投資で運用し、**2%**の利回り(年40億円)を実現させて区民サービス拡充の財源を創出します。

|2| **ふるさと納税返礼品を拡充、10億円**生み出します!

現在港区はふるさと納税によって他自治体に**68億円**の財源が流出しています。ホテル宿泊券や観光ツアーなど港区で活用できるような返礼品をすることによって、経済活動の活性化に繋がるとともに、赤字額を可能な限り削減していきます。

先行事例はある!

渋谷区は
返礼品
黒字**7億円**

|3| **デジタル化などで業務効率化!**

予算**1.5%**の**30億円**を生み出す!

海外シンガポール修学旅行事業は議案提出当初、相見積もりすらなく、**5.1億円**(1人あたり67万円)の予算が要求されました。港区議会は特別委員会を設置し、予算は**3.8億円**に「**1.3億円**」スリムになり、プログラムも充実化が実現しました。一つ一つの事業をレビューし、無駄遣いを徹底的に省きます。

先行事例はある!

品川区は
事業事業評価で
23億円を削減
(令和5年度)

|4| **宿泊税を導入します!**

この財源で観光政策・商店街支援も
拡充します!

20億円

先行事例はある!

京都市は宿泊税で
45億円の税収確保!

教育・学校

質の高い公立学校の実現

- 1 区立中高一貫校の設立
- 2 民間の塾を学校の放課後に導入する「放課後塾」の拡充
- 3 国際バカロレア認定校・イエナプランスクールなど区民から強いニーズのある質の高いカリキュラムの公立校を設立
- 4 デジタルAIドリルの導入
- 5 区立学校における学力支援体制強化
- 6 学校給食の品質向上
- 7 自宅学習が難しい子どものための自習室の創設
- 8 ドリル代や彫刻刀などの学用品の無償化
- 9 小中学校の老朽化トイレの改善

多様な個性を支援する学びの充実

- 10 不登校児童の受け皿となる学びの多様な学校の設置
- 11 ADHDなど特殊な才能を持つギフテッド教育の強化
- 12 学校独自の施策を支援するスクールファンドの設立

国際人育成を強化する

- 13 区内在住の外国人世帯にホームステイ異文化体験する「まちなか留学」の実施
- 14 英会話アプリ導入
- 15 オンライン英会話事業の拡大
- 16 大使館と連携した国際交流事業の導入
- 17 ホームステイ型留学事業の派遣国や派遣枠の拡大

教員の働き方改革

- 18 教員の待遇改善
- 19 スクールサポートスタッフや区費講師など人員体制強化
- 20 働き方改革コーディネーターを派遣

キャリア教育の拡充

- 21 起業家人材バンク設立で学校に起業家派遣
- 22 中学生へのキャリア未来デザイン教育の導入
- 23 中学生の部活動の顧問に外部人材の登用
- 24 港区の中高生に区役所の職業体験

PTA支援

- 25 DXと外部発注でPTAの負担軽減

出産・子育て

総合

- 26 部署を横断してこども政策を推進する「こども政策監」のポストを新設
- 27 少子化対策に取り組むチームを編成する

給付金を強化する

- 28 出産一時金 200万円給付
- 29 スマイル商品券を5万円(臨時)から年12万円(恒久化)に拡充

支援制度を拡充する

- 30 子育て世帯への住宅支援
- 31 ベビーシッター代の助成事業の強化
- 32 港区産前産後・育児支援サービスの強化
- 33 学童キャンプなど子どもたちの体験活動に補助金を創設
- 34 子育て手続きのオンライン化

不妊治療の支援の強化する

- 35 不妊治療の助成の拡充
- 36 卵子凍結助成の拡充

保育体制を強化する

- 37 兄弟・姉妹が別園とならないよう保育園入園制度を改善
- 38 私立保育園の戸外活動・遊び場確保の支援体制の強化
- 39 保育士の待遇改善
- 40 幼稚園型こども園の設立
- 41 保育園の誰でも通園制度の拡大
- 42 一時保育・病児保育・障がい児保育の拡充

学童を強化する

- 43 学童の待機児童の解消
- 44 学童職員の指導力の向上
- 45 学童の給食の献立の見直し

子どもの遊び場を確保する

- 46 屋内遊び場施設の設定
- 47 公園の遊び場機能の拡充(プレーパーク)
- 48 港区版「どこでも運動場プロジェクト」(区が事務局となり、緑道、道路、公共施設の広場、企業の私有地などを子どもの遊び場として解放)

医療・介護

- 49 高齢者対象の慶祝品の利便性向上
- 50 高齢クラブなどシニア活動への助成拡充
- 51 高齢者の健康づくりやプッシュ型健康診断
- 52 坂道などでのシニアカートのポート設置
- 53 介護職員の待遇改善や所得向上の推進
- 54 独居世帯が安心して暮らせる見守り対応強化(ふれあい相談員の増員)
- 55 いきいきプラザでのイベントの拡充
- 56 高齢者向け住宅の整備・拡充
- 57 二世帯・同居住宅への固定資産税の減免
- 58 特別養護老人ホームの待ち状況の見える化

- 59 訪問診療・在宅介護の活用しやすい仕組みづくり

- 60 高齢者のフレイル予防対策の強化

災害対策

- 61 防災のためのコミュニティづくり
- 62 区道の無電柱化の推進
- 63 老朽化したマンションへの災害対策支援
- 64 震災に備える議会BCPの導入
- 65 区議員の区在住者増加の促進
- 66 港区独自の防災教育の導入
- 67 全ての避難所に非常用電源の設置と蓄電池の検討
- 68 消防団員の負担軽減、練習場所の確保
- 69 消防団員の加入促進の支援強化
- 70 確実に届く復興支援
- 71 都市型防災に特化したコミュニティ形成
- 72 災害関連死の防止
- 73 被災ごみ対策

町会・自治会支援

- 74 町会・自治会の支援体制の強化
- 75 町会・自治会への加入促進

まちづくり

交通

- 76 港区による深夜バスの運営(ナイトタイムエコノミー)
- 77 AIオンデマンド交通の導入
- 78 交通不便地域の再点検と解決

人口急増に伴う街の整備

- 79 駅の入り口の拡大など通勤ラッシュの混雑解消に向けた検問会を設置
- 80 スーパーなどの生活利便施設を開発事業者に附置を求める体制の強化
- 81 道路上の駐輪場の整備

住宅政策

- 82 借上げ等住宅の復活等を含めた具体的な居住支援の実現

再開発

- 83 区民ニーズの高いスーパーや介護施設などの設立がしやすいような支援を強化

水辺

- 84 海や河川の浄化施策を強化

誰よりも区民と対話し、政策に反映します！

- 85 舟運の活性化
- 86 水辺の観光資源化

防犯・タバコ

- 87 防犯カメラの設置拡充
- 88 タバコの科料(罰金)の導入
- 89 完全分煙型の喫煙所の拡充

公衆トイレ

- 90 「汚い・臭い・暗い・怖い・壊れている」5Kなトイレ対策

ペット

- 91 港区立公園でのドッグランゾーンやペットイベントの拡充
- 92 ペット防災及びペット同室避難の早期実現
- 93 ペット税の導入に関する議論開始
- 94 マナー講習やしつけ教室の強化
- 95 犬の公園利用に関する条例制定の検討を開始
- 96 ペットの埋葬に関する検討会の設置
- 97 ペットショップの犬・猫などの陳列販売規制の検討

区役所改革

行政のデジタル改革

- 98 常勤のデジタル政策監の登用によるデジタル化の推進
- 99 港区長選・区議選のネット投票の実現(まずは住民投票で実験)
- 100 AIによる人事配置
- 101 産業振興に資するAI人材育成
- 102 minato city wifiの増設と強化

稼ぐ港区・独自財源の確保

- 103 基金運用の見直し
- 104 ふるさと納税返礼品の創設
- 105 無駄遣いなくす(鉄道100周年アドトレイン1億円)
- 106 ネーミングライツや公共施設での広告費による収益の確保
- 107 宿泊税の導入

働き方改革・モチベーションマネジメント

- 108 区の職員の働き方改革・インセンティブ作り
- 109 民間企業では当たり前の「モチベーションマネジメントツール」の導入
- 110 女性管理職の登用増加の推進

伝わる区政の実現

- 111 マーケティング課を設置
- 112 広報のプロである民間人材の登用
- 113 区民への事業についての事前説明の徹底(街路樹の伐採理由など)

文化・芸術

- 114 パブリックアートの推進
- 115 落書き防止にアートの展開
- 116 国立新美術館やサントリー美術館など港区の多数集積している美術館・博物館との連携事業の強化
- 117 文化芸術における青少年の課外活動に対する独自支援の新設

スポーツ

- 118 スポーツにおける青少年の課外活動に対する独自支援の新設の対象拡大
- 119 スマートキーの導入による施設利用可能時間の拡大
- 120 スケートボードなどアーバンスポーツのできる公園づくり
- 121 障がい者にやさしいスポーツ施設づくり

観光政策

- 122 港区の強みを活かしたナイトタイムエコノミーの推進
- 123 観光協会の予算を倍増

商店街支援

- 124 商店街の加入促進の支援強化
- 125 東京都の商店街支援政策との連携強化
- 126 商店街の魅力発信・イベント広報の支援強化
- 127 商店街事務職員の派遣数を増員
- 128 スマイル商品券の予算の倍増
- 129 高齢者の運動チャレンジのゴールとして「商店街商品券」を活用
- 130 町会・自治会・消防団の加入促進の特典として「商店街商品券」を活用

産業振興・スタートアップ支援

- 131 スタートアップ企業の実証実験サポート
- 132 東京都のスタートアップ支援事業との連携
- 133 地域課題とそれを解決するスタートアップ企業のマッチング事業

環境政策

- 134 みなと区民の森の更なる活用
- 135 SDGs教育の拡充
- 136 街中のゴミ箱拡充
- 137 民間事業者の導入によるリサイクル事業の拡大

- 138 こども環境会議の開催
- 139 区役所のデジタル化で紙ごみ半減を目指す

若者政策

- 140 スーパーアプリの導入
- 141 若年カップル向けの無利子のローンの創設
- 142 特別区民税の減免措置による実質減税(港区版「若者減税」)の検討
- 143 男性のHPVワクチン接種無償化
- 144 性教育、ユースヘルスケアの推進
- 145 プレコンセプションケア(女性のヘルスケア)の推進

女性政策

- 146 DVハラスメント対策
- 147 女性医療の健診の充実
- 148 シングルマザーの支援強化
- 149 小中学校の女子トイレにサンタリー用品の無償提供

貧困対策

- 150 進学支援の強化
- 151 低所得世帯へのWi-Fiの提供
- 152 生活保護世帯の大学支援体制の構築
- 153 子ども食堂と地域企業との連携の支援強化
- 154 ひとり親家庭の支援
- 155 ヤングケアラーによる子どもの進学・就業対策

インクルーシブな社会

- 156 LGBTQの当事者の生きづらさに寄り添うまちづくり
- 157 学校教育現場でLGBTQの自認がある子どもたちをサポートする体制
- 158 歩道に存在する段差の解消
- 159 障がい者グループホームへの支援策の拡充
- 160 親が亡くなったあとも安心できる障がい者施策の策定

あなたの声で
政策をアップデートしていきます！
さいき陽平にご意見を直接届けてください！





さいき陽平のこれまでの歩み *History*

- 2010年4月** 慶應義塾大学にAO入試で合格
- 2010年** 『日経ビジネス』誌が選ぶ「**各界で活躍する平成生まれ30人**」に選出されました。学習塾「**ルークス志塾** (旧:AO義塾)」の実績を御評価いただきました。
- 2012年** 高校生のための起業家養成講座 NES を発起人として発足し、**著名な起業家と学生を繋ぐ勉強会を10年間に渡って主催**しました。株式会社タイミーの小川社長を始めとし、多くの若手起業家を輩出しました。
- 2013年** 高校生未来会議を発足し、**全国の高校生が政策プランを実際に国会議員へ提言できる主権者教育の場を10年間に渡って主催**しました。参加者から、**政治家や官僚も誕生**しています。
- 2013年1月** 18歳選挙権実現運動 (teens rights movement) を発足。2014年には**18歳選挙権の実現に貢献**しました。18歳選挙権の国会での**法案審議には参考人として招致され、当時22歳・最年少で法案賛成の意見陳述**を行いました。**若い世代の社会参画はライフワーク**です。
- 2014年** 慶應義塾大学法学部政治学科卒業 (片山善博ゼミ)
- 2016年** 慶應義塾大学大学院法学研究科修了 (河野武司ゼミ)
- 2023年** 港区議会議員選挙、当選。



港区議会議員としての 取組み・実績

最年少で、「こどもまんなか・少子化対策特別委員会委員長」に就任させていただきました。2回の代表質問をし、港区史上最多の100名に傍聴していただきました。

- **最先端のICT教育を公教育に導入**
区内企業Life is Tech!社による**プログラミングや生成AIの活用方法などの教育を赤坂中学校と六本木中学校にて試験的に導入**いたしました。
- **放課後塾の導入の実現**
昨年9月の決算特別委員会から提言し続けた「**放課後塾**」が**三田中学校と青山中学校で試験的に始まる**ことが決定。放課後塾は民間の学習塾を学校内に誘致し、放課後生徒の学習サポートをする事業です。
- **給食費の無償化の実現**
令和5年度に引き続き令和6年度以降**給食費の恒久的な無償化が決定**しました。
- **ドッグラン設置の実現**
港区民からの陳情を受け、**期間を限定したドッグラン設置が区内公園にて来年度から実施**されることに決定しました。



- **海外修学旅行の予算見直し**
港区民の陳情を受け、海外修学旅行事業の見積もりの見直しを会派「**みなとみらい会議**」として求め、**当初の見積もりから1.3億円縮減**しました。
- **少子化対策のための新調査の実現**
少子化対策の根本的な戦略を立てるため、**区民が希望する出生数を調査し、区民の結婚に対する希望、子どもを持つことの希望の把握**を求めました。その結果、「**子育てしやすい環境の充実に向けた調査研究**」を区が実施し、区民が希望通り子どもが持てない原因や希望出生数を具体的に把握しました。
- **基金運用の改善、予算編成の転換**
基金運用についての会議でさいきの提案が議題になり、**現行年2回だった基金運用に関するアドバイザー会議を増やす**ことが決定しました。**わずか0.1%に留まっている港区の債券運用に一石が投げられました。**

港区議会議員 さいき陽平 *Profile*

32歳

- 1992年2月、福岡県北九州生まれ、実家は山口県長門市
- 慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
- 慶應義塾大学大学院法学研究科 修了
- 18歳で総合型選抜に特化したAO義塾を起業
- Loochcs志塾 塾長・Loochcs高等学院 代表取締役
- 4000名以上の高校生を難関大学に輩出
- 創業14年目で、現在は全国26校舎に展開
- 2023年4月 港区議会議員選挙 初当選 (2250票を頂き、57名中4位で当選)
- [趣味] 読書、サウナ、宇多田ヒカルを語ること

慶應義塾大学...1251名
旧帝国大.....104名
東京大学.....51名
など

Loochcs志塾

さいき陽平後援会事務所

東京都港区六本木3-7-1
TEL 070-9049-1496



あなたの声力が力になります



@YoheiSaiki



@yohei_saiki



@saikiyohei1000